

# 令和2年度 地域別海外誘客プロモーション計画 クルーズ市場

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー  
誘客事業部 海外プロモーション課



# クルーズ船について

# クルーズ船とは？

クルーズ船とは、宿泊施設をはじめレストランやプールなどを備えた客船のこと。医師や看護師なども乗船しており、長期の旅行にも対応している。クルーズ船を利用した旅行をクルーズ又はクルーズ旅行といい、5カ月という長期間の世界1周クルーズから1Dayクルーズまで種類も豊富。また、近年では環境配慮型のクルーズ船が造られるなど多くの人々のニーズに合った旅行を提供している。沖縄には数百人の小型船から5,000人が一度に乗船できる大型船まで様々な船の寄港実績がある。



# クルーズ船の種類（船のカテゴリ）

※リバークルーズ除く



船の種類	総トン数	乗客定員	長さ	主な客層	主な観光コンテンツ
ラグジュアリー	1万～5万トン	100～700人	10泊以上	欧米系・日本人 ・シニア	自然・文化・歴史 体験コンテンツ
プレミアム	4～12万トン	700～2,500人	3泊～7泊	欧米系・日本人 ・シニア __現役世代	ハイライトツアー 体験コンテンツ
カジュアル (スタンダード)	5～20万トン	1,500人～ 5,000人	3泊～5泊	中華系・日本人 ・現役世代 ・ファミリー	ショッピング ハイライトツアー 体験コンテンツ
エクスペディション	1万トン前後	100人～300人	7泊	欧米系シニア	極地（北極・南極） 自然・文化・歴史

参考：クルーズ客船データブック 2020・2021

# クルーズ船の種類（クルーズルート）

## 定点クルーズ

発地と着地が同じクルーズ。日本・台湾・中国等東アジア市場向けのクルーズは、定点クルーズがメイン。

例) スタークルーズ社 3泊4日  
基隆（台湾）→石垣→那覇→基隆



## ワンウェイクルーズ

発地と着地が別のクルーズ。県内に寄港する多くの欧米客向けクルーズがこのタイプ。発地は横浜・神戸・上海・香港・シンガポール等、東アジアの主要港を母港とする場合が多い。

例) ポナン社 12泊13日  
マニラ→花蓮→石垣→平良→那覇→奄美大島→宮之浦→宇和島→広島→玉野→大阪



# 訪日クルーズの状況

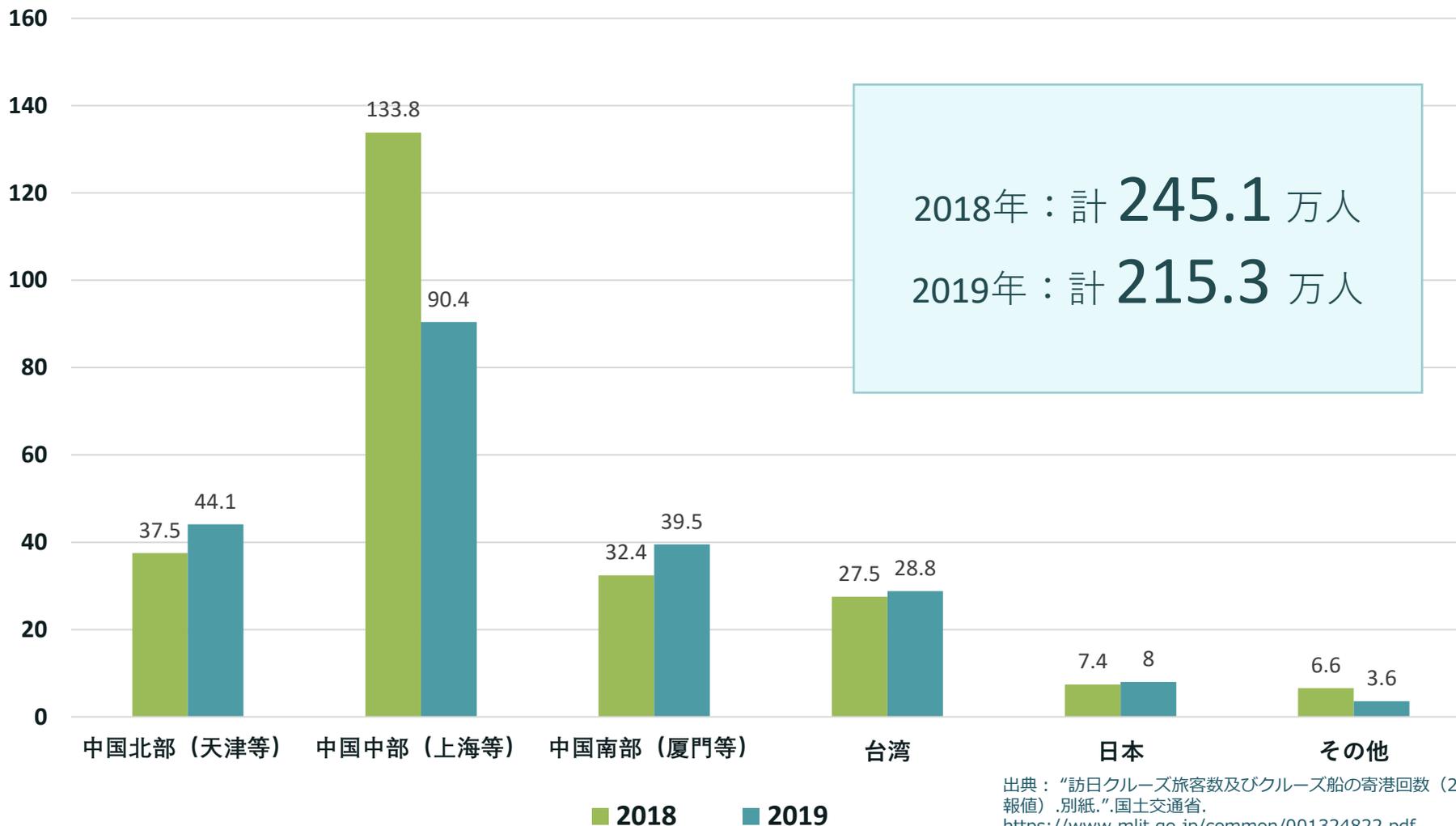
# 訪日クルーズの現状（入域客数）



## 出発国別訪日クルーズ旅客数（外航船、インバウンドのみ）

(万人)

※クルーを含まない



出典：「訪日クルーズ旅客数及びクルーズ船の寄港回数（2019年速報値）.別紙.」.国土交通省.  
<https://www.mlit.go.jp/common/001324822.pdf>

# 訪日クルーズの現状（寄港回数）

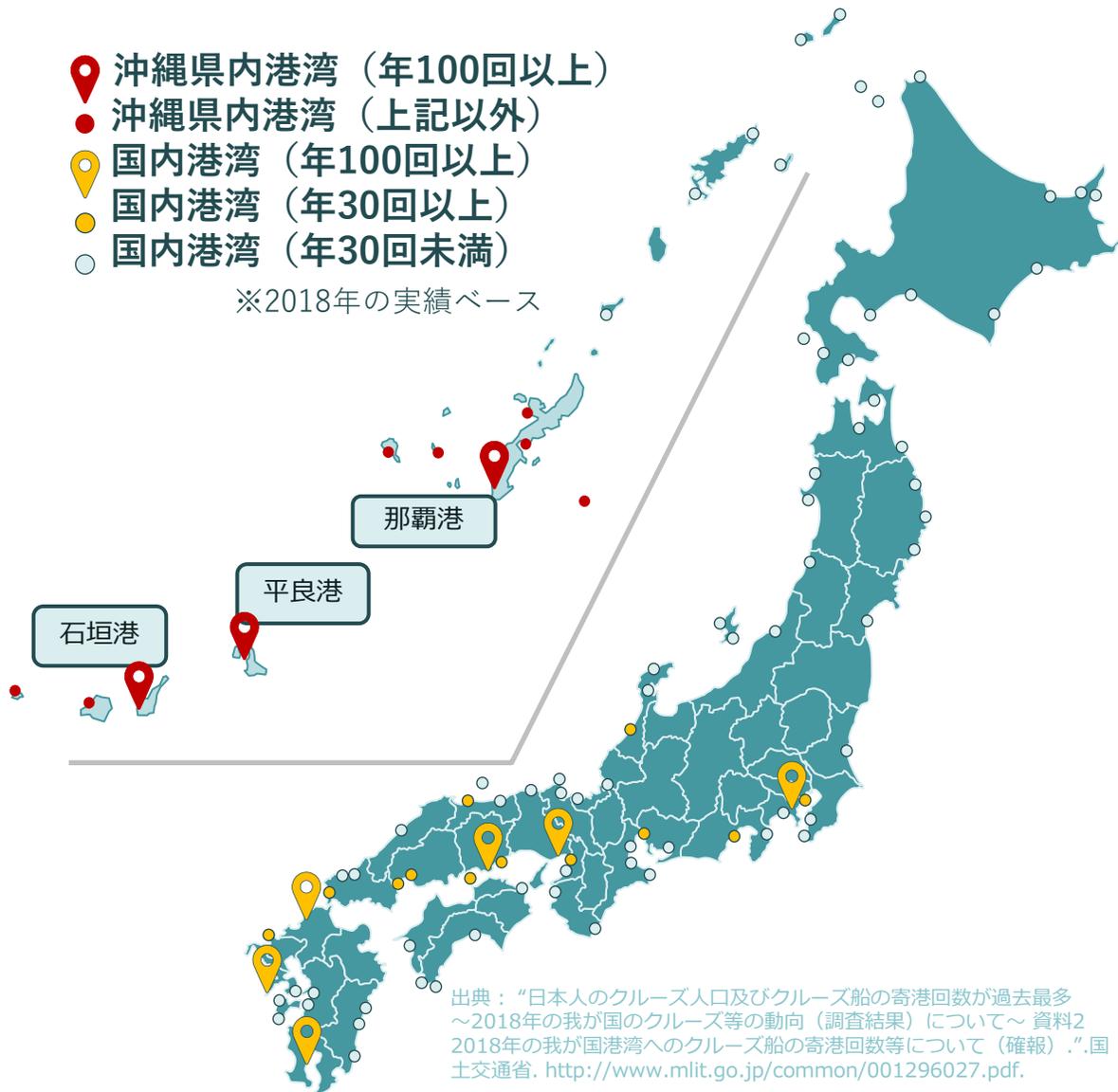
## 2019年 港湾別クルーズ船寄港回数

順位	港湾名	寄港回数	【参考】 2018年 寄港回数
1	那覇	260	243
2	博多	229	279
3	横浜	188	168
4	長崎	183	220
5	石垣	148	107
6	平良	147	143
7	神戸	131	136
8	鹿児島	108	100
9	ベラビスタ マリーナ 【広島県】	100	122
10	佐世保	79	108

出典：“訪日クルーズ旅客数及びクルーズ船の寄港回数（2019年速報値）”.国土交通省.  
<https://www.mlit.go.jp/common/001324822.pdf>.

- 📍 沖縄県内港湾（年100回以上）
- 沖縄県内港湾（上記以外）
- 📍 国内港湾（年100回以上）
- 国内港湾（年30回以上）
- 国内港湾（年30回未満）

※2018年の実績ベース



出典：“日本人のクルーズ人口及びクルーズ船の寄港回数が過去最多～2018年の我が国のクルーズ等の動向（調査結果）について～ 資料2 2018年の我が国港湾へのクルーズ船の寄港回数等について（確報）”.国土交通省. <http://www.mlit.go.jp/common/001296027.pdf>.

# 訪沖クルーズの状況

# 県内のクルーズ受入港湾

## 小型船受入地（実績・予定）

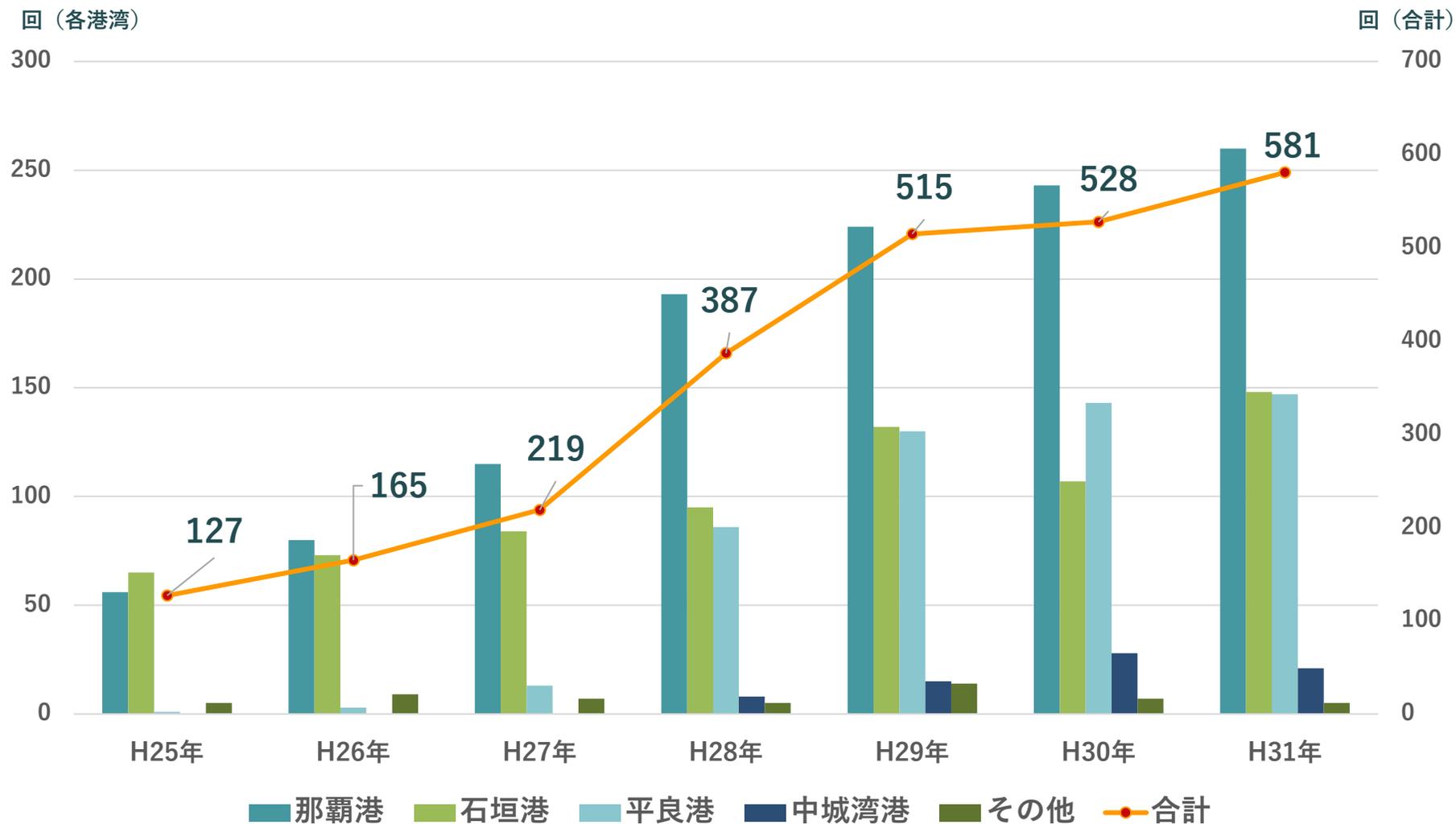
1. 慶良間諸島
2. 久米島
3. 西表島
4. 与那国島
5. 南大東島



## 大型船受入可能港

1. 那覇港
2. 中城湾港
3. 本部港
4. 平良港
5. 石垣港

# 沖縄県内のクルーズ船寄港回数の推移



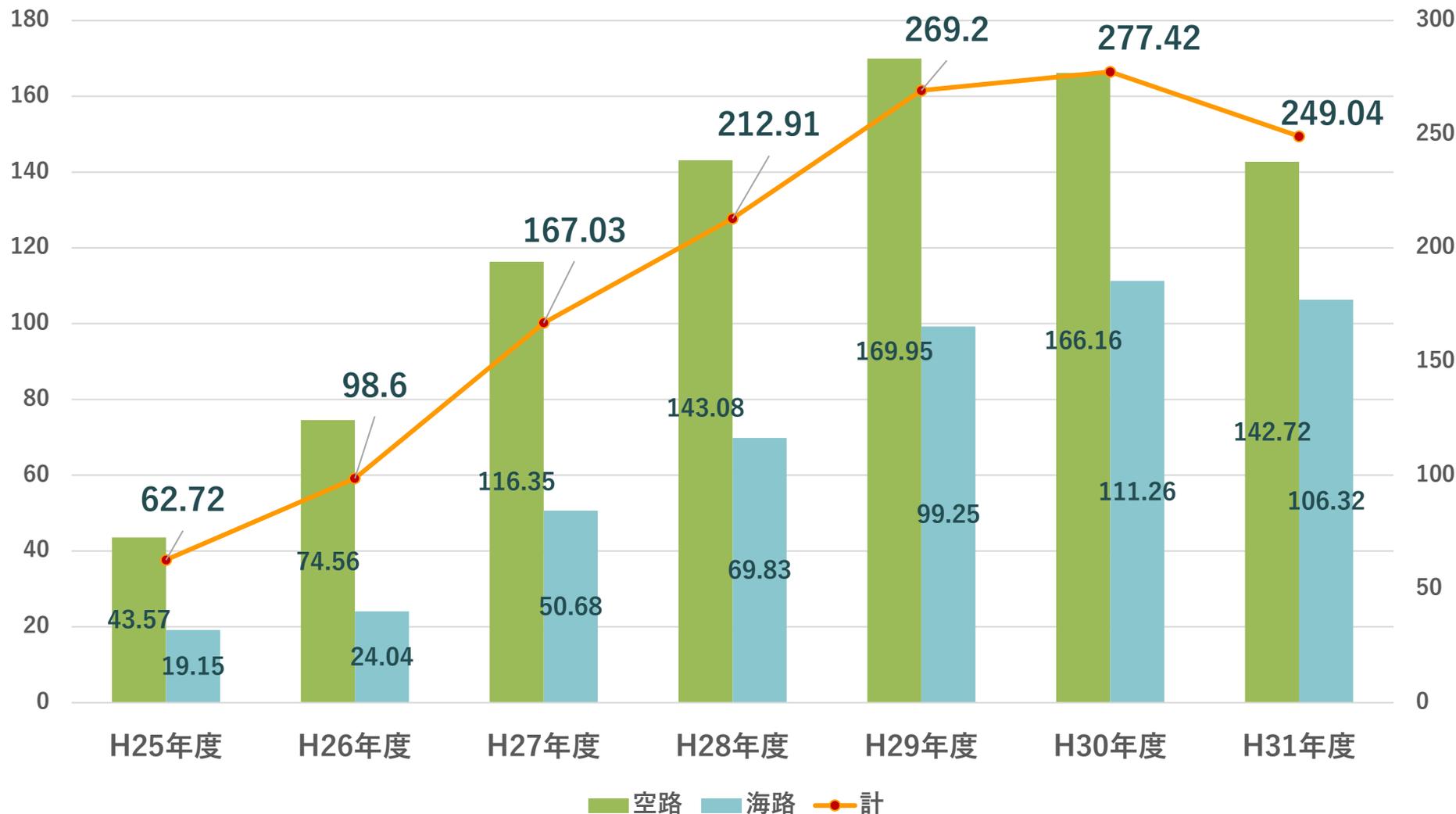
出典：“沖縄県内に寄港したクルーズ船の2019年実績（速報値）について。” 内閣府沖縄総合事務局. [http://www.ogb.go.jp/-/media/Files/OGB/Kaiken/kyoku/kisya/R020123/PDF\\_R020123\\_kikou\\_cruise\\_jisseki\\_2019.pdf?la=ja-JP&hash=20612312CD10B8540B4259DC213139A57ADC2255](http://www.ogb.go.jp/-/media/Files/OGB/Kaiken/kyoku/kisya/R020123/PDF_R020123_kikou_cruise_jisseki_2019.pdf?la=ja-JP&hash=20612312CD10B8540B4259DC213139A57ADC2255)（参照：2020-03-23）

# 沖縄県内への海路入域観光客数の推移

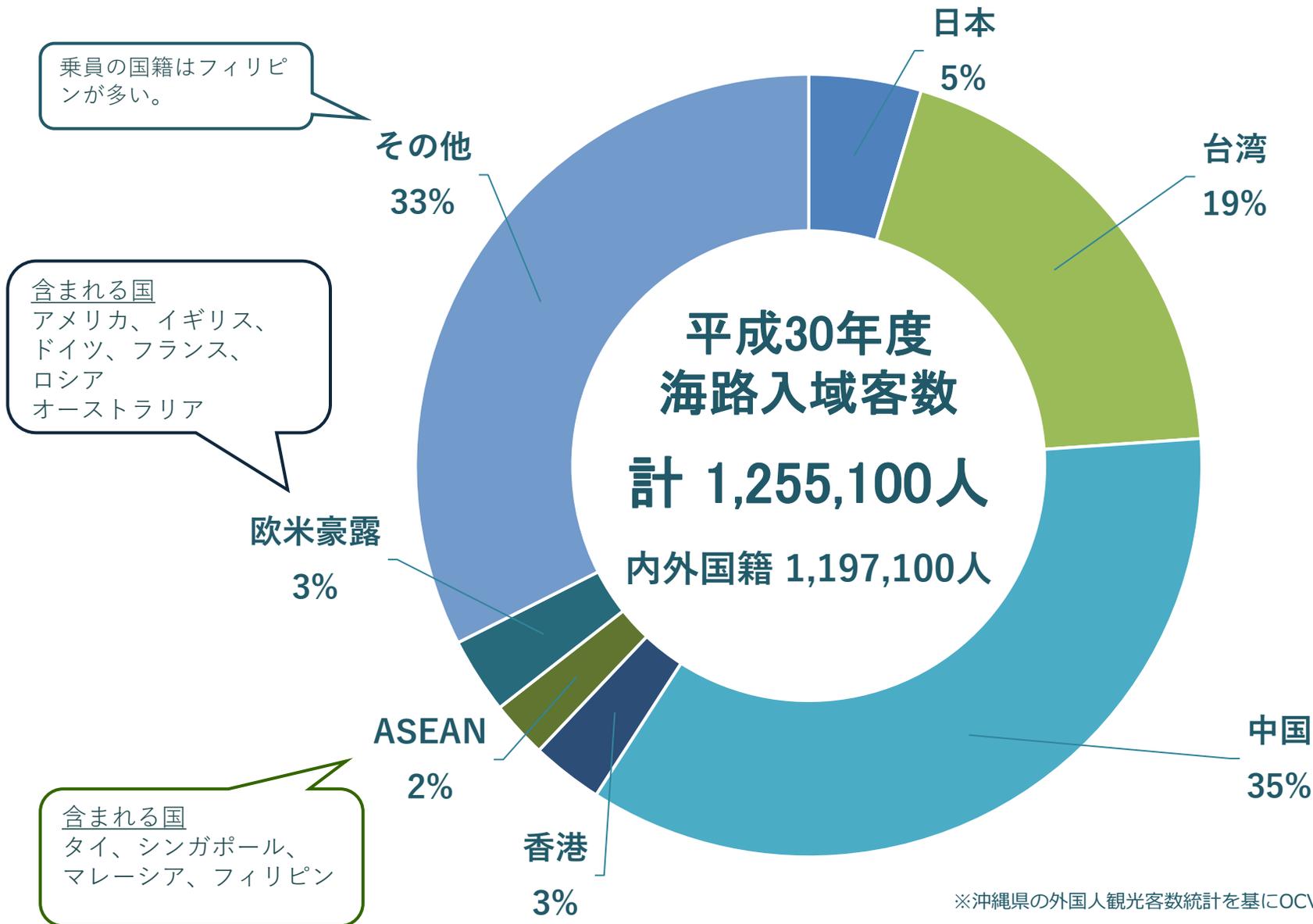


※ 特例（乗員）含む

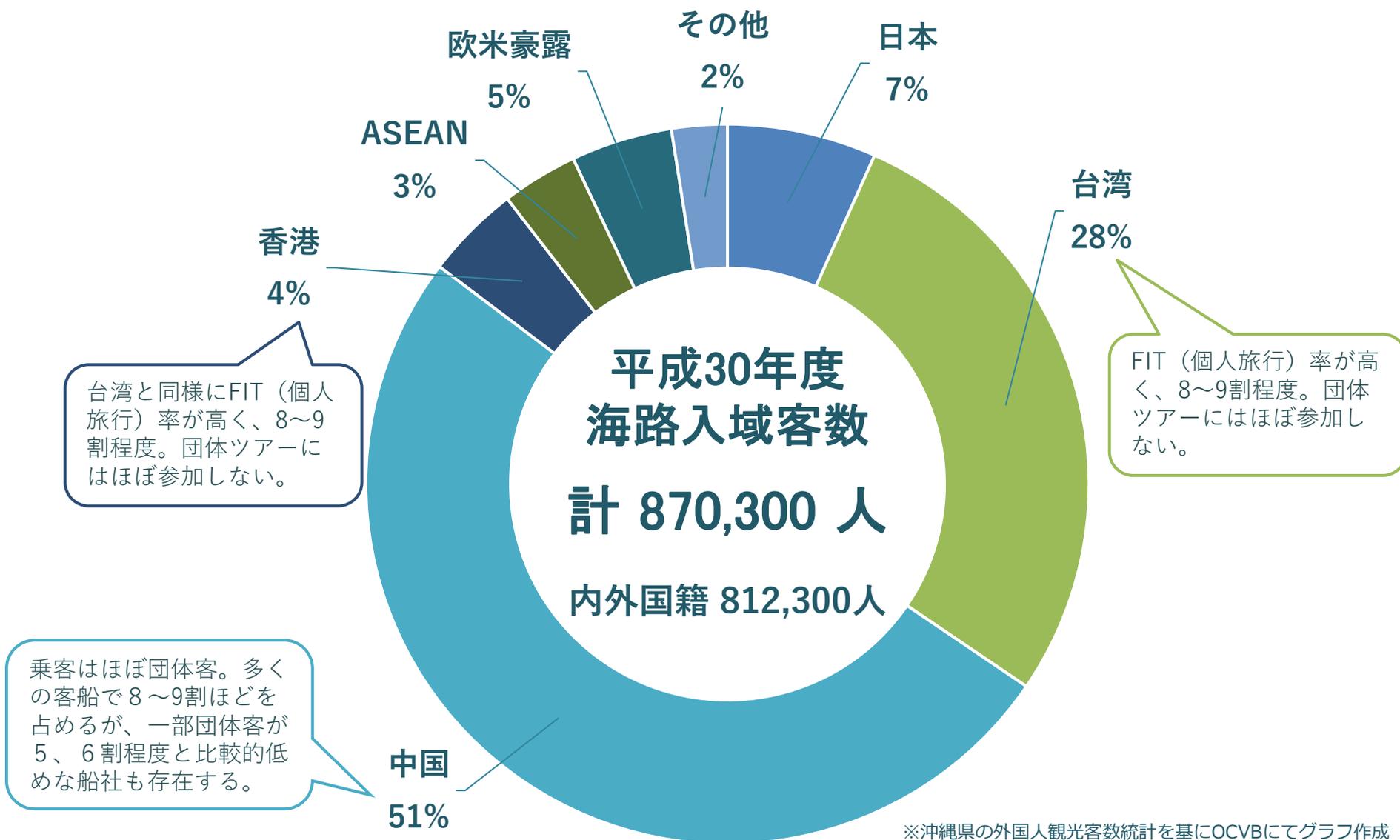
万人（合計）



# クルーズ船乗客国籍別割合（乗員含む）



# クルーズ船乗客国籍別割合（乗員含まない）



# 県内へ寄港するクルーズ船の傾向



# クルーズ船寄港による県への経済効果 ①



## H30年度 外国客県内消費額比較（空路・海路）

種別	平均消費額	平均滞在日数	1日あたり平均消費額
外国空路客	90,119円	4.77	18,893円
外国海路客 (クルー含む)	28,343円	1	<b>28,343円</b>
外国海路客 (クルー含まない)	34,336円	1	<b>34,336円</b>

出展：沖縄県「平成30年度観光要覧」

クルーズによる観光収入：

1,197,100人 × 28,343円 ÷ **339億円**

空路客より一日あたり **1万円程度**多く消費している！

# クルーズ船寄港による県への経済効果 ②

## H30年度 外国客 1 人当たり県内消費額比較（空路・海路）内訳

種別	外国海路客 (クルーまない)	外国海路客 (クルー含む)	外国空路客
宿泊費	-	-	26,053円
県内交通費	4,834円	3,923円	11,750円
<b>土産買物費</b>	<b>24,336円</b>	<b>19,276円</b>	25,071円
飲食費	4,745円	4,356円	20,904円
娯楽・入場費	401円	667円	6,613円
その他 ※ etc.	19円	121円	21円

出展：沖縄県「平成30年度 国内客・外国客（空路・海路）一人当たり観光消費額」

土産買物費以外の項目は、空路客の消費額と大きな差



寄港地としての課題解決とともに、消費額アップを目指す！

# 課題及び解決に向けて

# 新型コロナウイルス感染症への取り組み ①

## 世界の 現状

- 世界各国や地域（EU等）がクルーズ受入のガイドラインを作成  
（R2.8.14現在 日本では国交省が作成中）
- 各船社も寄港地と連携し、エリア毎に運航ガイドラインを作成、その他様々な対策を実施  
例）
  - ・ 船内キャビンへ独立空調システムの導入
  - ・ 乗客乗員への乗船前PCR検査実施
  - ・ 医務室付近のキャビンを、要観察者待機部屋として確保
  - ・ 乗船率、公共スペース（レストラン・ジム等）使用率の制限

## OCVB の 取組

- ニューノーマルを踏まえた受入体制整備支援
- 船社に対する国内港湾入港時ガイドラインの周知徹底
- 動画・オンラインを活用した沖縄防疫観光情報の発信
- 沖縄県や各船社と連携した、withコロナ/afterコロナ期の中長期的プロモーション戦略の策定・実施

 新型コロナウイルス感染症の状況に応じ、随時プロモーション関係計画の変更やスケジュールの更新を行います。詳細については、OCVBコーポレートサイトをご確認ください。

# 新型コロナウイルス感染症への取り組み ②

## <フェーズ1>

県内、国内外で  
渡航移動規制あり

## <フェーズ2>

(**県内**旅行需要喚起)  
国内外で渡航移動規制あり

## <フェーズ3>

(**国内**旅行需要喚起)  
日本及び相手国で国内旅行再開。海外で渡航移動規制が段階的に解除

## <フェーズ4>

(**海外**旅行需要喚起)  
海外渡航移動規制なし。観光客の入国制限が解除され、インバウンドの受入環境が整った状態。

- 各クルーズ船社及び世界のクルーズ動向の正確な把握
- オンラインクルーズイベントや業界向けメディアを活用したB向け情報発信
- ニューノーマルを踏まえた受入体制整備支援

👉 当面の間、海外からの招聘事業や現地イベントへの参加は難しいためオンラインでの情報発信や意見交換を実施

👉 新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着いているエリアについては、クルーズの知見がある現地メディア・インフルエンサーを活用したPRを検討

- 寄港地沖縄の貿易情報・受入ガイドライン発信
- クルーズ船社の感染症対策情報の発信
- 新型コロナウイルス感染症によるトレンド変化を踏まえた商品の造成支援
- クルーズ船社、県内国内港湾との連携PR
- 国内クルーズ船社・ランドオペレーター招聘

- 海外クルーズ船社・インフルエンサー招聘

# クルーズ船寄港地としての課題と取り組み

## カテゴリ

## 課題

## 解決に向けた取り組み

### ① 誘致

- 那覇・平良・石垣への寄港集中
- クルーズ入域客国籍の偏り

- 中城・本部への寄港分散
- エクスペディション船の誘致
- 沖縄未就航船（主に欧米系）の誘致

### ② 満足度

- 寄港地ツアーコンテンツの多様化
- 滞在時間の短さ（平均8時間）

- ランドオペレーターや県内事業者と協力したコンテンツ開発
- オーバーナイトやフライ&クルーズの推進

### ③ 受入 体制

- 二次交通の利便性向上
- 港湾周辺情報の発信不足
- 消費の拡大・多様化

- 地元受入団体・港と連携した受入体制強化
- ウェブサイト等を活用したクルーズ乗客向け寄港地情報の発信

# 誘致に関する課題の解決に向けて

カテゴリ

課題

解決に向けた取り組み

①  
誘致

- 那覇・平良・石垣への寄港集中
- クルーズ入域客国籍の偏り

- 中城・本部への寄港分散
- 沖縄未就航船（主に欧米系）の誘致
- エキスペディション船の誘致

## 具体的な取り組み

### ● 船社向けFAMツアーの実施

県内寄港実績のある船社 ⇒ 中城湾港・本部港及びその周辺観光地  
沖縄未就航船社 ⇒ 那覇港をはじめとする県内主要港湾及び周辺観光地

### ● クルーズ商談イベントへの参加

シートレード・クルーズ・バーチャル（10月）etc.

### ● 業界向けメディアを活用したでPR及び情報発信

# エクスペディション船誘致に向けて①

## エクスペディション（探検）クルーズとは？

小型船で、世界中の島々を含む極地をめぐるクルーズ。別名探検クルーズ。

主な寄港地は南極・北極、アラスカ、ガラパゴス諸島など。欧米系のラグジュアリー層でかつ、エクスペディション慣れしたリピーター客が多い。設備の整った港を必要とせず、ゾディアックと呼ばれる強化ゴムボートを使用し、寄港地の環境に配慮した形で上陸や遊覧を行うことができる。エクスペディションクルーズに特化した船社もあるが、近年ではラグジュアリークルーズ船社がエクスペディション船を保有する例が増えている。



ゾディアックボートの様子 @Ponant Studio

## エクスペディション船を誘致する理由

### ● 船社にとって非常に魅力的な沖縄の島々

- 島ごとの独自の自然や文化
- アクセスが限られた島が多く、クルーズならではの旅を提供できる

### ● 離島地域へのメリット

- 大掛かりな設備投資不要（大きな港湾施設がなくても寄港可能）
- 寄港地の環境や状況に合わせたツアー造成が多い
- 受入準備に時間をかけることができる（2年～1年半前の寄港決定）
- ラグジュアリー層の寄港による経済効果

### ● 沖縄県としてのメリット

- 那覇港・石垣港・平良港に集中する寄港の分散
- 沖縄クルーズの多様化
- ラグジュアリー層及び欧米客増（入域客国籍の偏り解消）

# クルーズ客満足度向上に向けて

カテゴリ

課題

解決に向けた取り組み

②  
満足度

- 寄港地ツアーコンテンツの多様化
- 滞在時間の短さ（平均8時間）

- 現地旅行社やランドオペレーター、県内事業者と協力したコンテンツ開発
- オーバーナイトやフライ&クルーズの推進

## 具体的な取り組み

### ● 現地旅行社向けのセミナー開催（中国大陸向け）

寄港地ツアー造成に影響力のある現地旅行社向けに、県内観光情報を発信し、寄港地ツアーの品質向上・多様化、ツアーの満足度向上に繋げる。

### ● ランドオペレーター向けFAMツアーの実施（欧米船向け）

寄港地ツアー造成を行う在京のランドオペレーターに対し、新たな観光コンテンツを紹介し、寄港地ツアーの多様化を図る。

# 県内発着のフライ & クルーズ推進について①



## フライ & クルーズ (F&C) とは？

飛行機でクルーズ発着港まで移動（フライ）し、乗船（クルーズ）する旅行形態。

クルーズ発着地で前後泊をする乗客多数⇒**県内消費額増**につながる  
(特に宿泊費、飲食費)

※欧米船の多くはアジア主要港でのフライ & クルーズを行っている。

例) コスタクルーズ 3泊4日

✈ 日本各地 ⇨ 沖縄  
🚢 那覇 - 宮古 - 基隆 - 那覇  
✈ 沖縄 ⇨ 日本各地

沖縄 03 週末は、沖縄と台湾に行ってきます。  
沖縄&台湾超ショートクルーズ 3泊4日

日次	寄港地
1	那覇 NAHA
2	宮古島 MIYAKOJIMA
3	基隆(台湾) KEELUNG(TAIWAN)
4	那覇 NAHA

那覇発 2020年4月17日

(新型コロナウイルス感染症の影響のためキャンセル ※8月現在)

## 期待される 効果

- 宿泊に伴う滞在時間の増加
- 〃 消費額の拡大
- 港から距離のある観光地への誘導・コンテンツの拡充

## 必要とされる 対策

- 豊富な航空路線
- スムーズなオペレーションに向けた関係各所の連携
- 上下船港としての機能を兼ね備えたターミナル整備  
(スムーズなCIQ手続き、大人数が利用できる待合所等)

# 受入体制の充実に向けて

カテゴリ

課題

解決に向けた取り組み

③  
受入  
体制

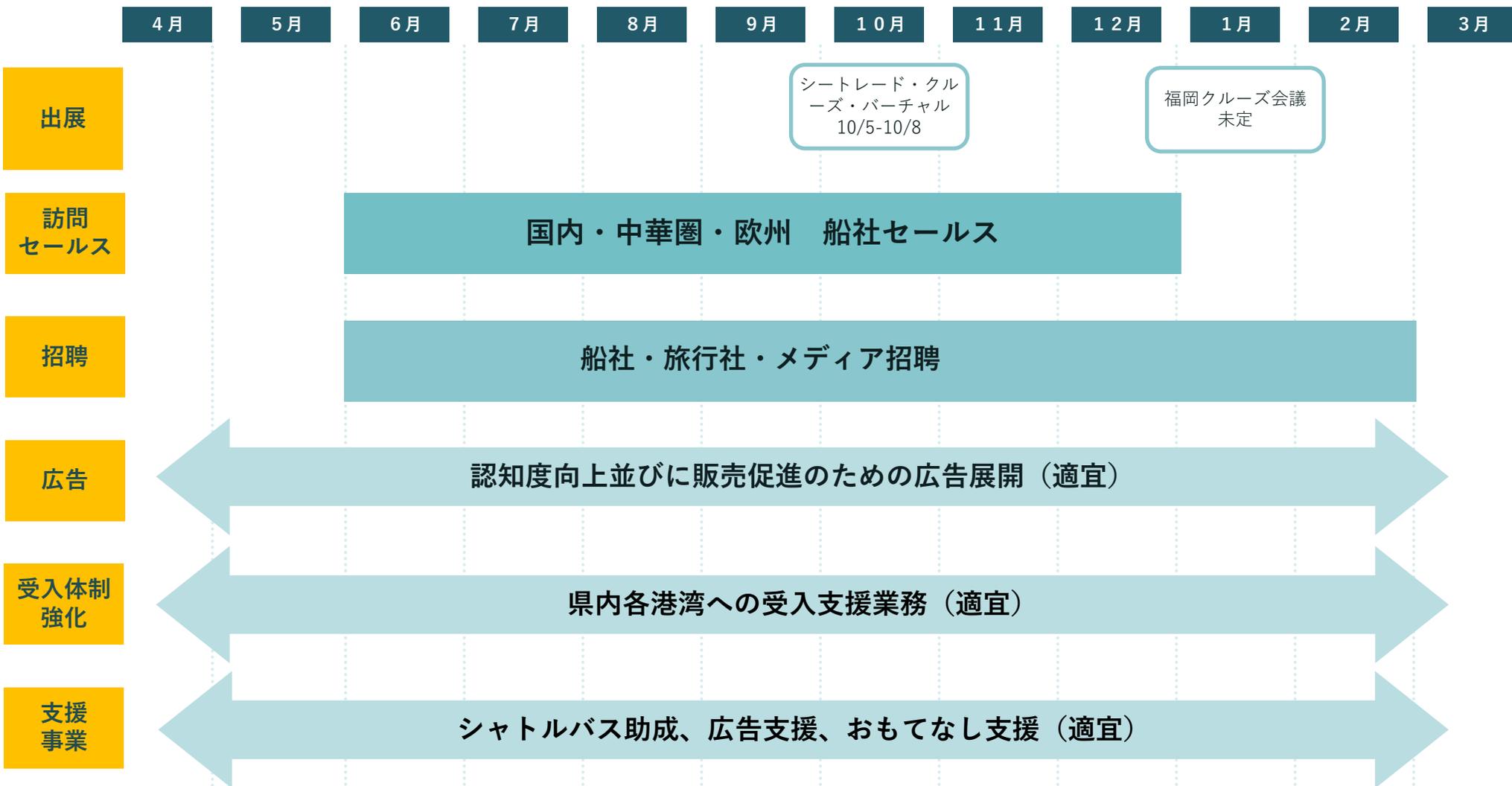
- 二次交通の利便性向上
- 港湾周辺情報の発信不足
- 消費の拡大・多様化

- 地元受入団体・港と連携した受入体制強化
- ウェブサイト等を活用したクルーズ乗客向け寄港地情報の発信

## 具体的な取り組み

- 県内事業者向けセミナーの実施（沖縄クルーズ・カンファレンス）
- 沖縄クルーズ関連ウェブサイトの構築
  - FIT客向け寄港地情報の発信（モデルルート、港情報etc）
  - 県内事業者向け 沖縄寄港クルーズ関連情報
  - 船社向け港湾基礎情報発信

# 令和2年度クルーズ事業年間スケジュール



※8月7日現在 内容については随時OCVBコーポレートサイトスケジュールにて更新